

2015年5月11日掲載

入れ歯

二人三脚でしっかり調整

新しく入れ歯を作ったのに、合わないため痛くて使えないという患者さんが時々います。しっかりかめるようになると期待してせっかく作った入れ歯が「合わなくて痛い」と悩む人が非常に多いのです。

では、なぜ作ったばかりの入れ歯が合わないのでしょうか。入れ歯は作ったばかりの時は、まだ作製途中であるといえます。そこから完成させるために、一人一人の口に合わせる調整を行います。そうすることで、その方の体に合った入れ歯に仕上げていきます。つまり調整することで、違和感なく使用できるようにする必要があります。

この「調整」が、個々のあごの状態によって変わってきます。回数が少なくてすむ場合もありますが、あごの状態により、調整して家で食事などをして様子を見て、また調整を繰り返すことが必要な場合もあります。

実は、せっかく入れ歯を作ったのに、調整を途中で終えてしまっている方が非常に多いです。つまり、未完成の状態と同じなのです。

確かに、何回も通院するのは大変だと思いますが、しっかりと必要な時間をかけて調整をしないと、ほとんどの場合痛みや違和感は解消されません。

また、長年使っていた古い入れ歯から新しい入れ歯に交換した場合、口の中の感覚が古い入れ歯に適合しているため、どうしても新しい入れ歯には違和感が伴います。

よくかめるよい入れ歯は、患者さんと歯科医師の二人三脚で仕上げて行く必要があるということです。